

リスクマネジメント手法比較

比較項目	一般的手法	新型コロナウイルスにおける手法
目的	リスク発生やその被害を効果的、効率的に抑え込むために実施する。	新型コロナウイルスのクラスター発生を未然に防ぐために実施する。
対象	企業や部門等の個別組織	国全体で事前に行っておくべきことと組織ごとに対応が異なる点がある。
前提	リスクは3要素（資産、脅威、脆弱性）から構成されている。関係性は、資産：脅威：脆弱性=1：1：1である。 組織ごとにリスクを洗い出すことになるが、業務の流れや資産をベースに実施する手法など多様である。	資産は、各組織における構成員や顧客などの健康、生命となる。脅威は、『クラスターが発生する。』1つである。脆弱性は、クラスターを引き起こす可能性のある因子となり、複数の因子が存在し、互いに関係性を保持する場合もある。したがって、関係性は、資産：脅威：脆弱性=1：1：多となる。 リスクには、場所（飲食店、学校、病院等）や状況（学校であれば、授業中、登下校中、給食時、休憩時など）に関する要素を含む。
リスク特定	組織におけるリスクを洗い出し、特定する。	国：クラスター発生に関与していると思われる因子の洗い出し、および特定を行う。因子とは、脆弱性のことである。
リスク分析	リスクを構成する3要素毎のリスクへの関与度を算定し、それらの積としてリスクの大きさを表す。その際、自組織における既存の対応状況も加味すること。	国：脆弱性のクラスター発生への関与度を算定する。 脆弱性相互における関係性の明確化も行う。 上記の結果から、クラスターが発生する影響要因、および重み係数を決定する。 組織：組織ごとに脆弱性に対する対応状況を加味して、算定を行う。
リスク評価	リスク対応への要否、および対応する場合の優先順位を決定する。その際、判断基準としてのリスク基準も設定する。	国：クラスターが発生する可能性のある脆弱性基準を設定する。 組織：脆弱性基準にしたがって、対応すべき脆弱性の選別、および優先順位を決定する。
リスク対応	組織における意思決定機関において、最適なリスク対応を決定し、実施する。	組織における意思決定機関において、最適な脆弱性対応を決定し、実施する。
残余リスク評価	リスク対応後に再度リスク分析およびリスク評価を行い、改めて行うべきリスク対応の要否を確認する。	脆弱性対応後に再度脆弱性分析および脆弱性評価を行い、改めて行うべき脆弱性対応の要否を確認する。

脆弱性分析パターンごとの状況説明

脆弱性因子	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計	状況説明	脆弱性改善対応
状況1	×	×	×	×	20	接待を伴う飲食店/換気の悪い自宅など	換気設備の整備/自宅の場合、窓や扉を開放する。定期的なPCR検査や日常的な検温の励行
状況2	×	×	×	○	15	換気がされていない通常のスナック、カラオケなど	換気設備の整備
状況3	×	×	○	×	15	換気をしっかりしている接待を伴う飲食店や自宅など/医療機関（検査中）	医療機関(検査中):直接患者と接しない方法での検査徹底 自宅:定期的なPCR検査や日常的な検温の励行
状況4	×	○	×	×	15	満員電車においてマスクを着けていない乗客がいる状態	マスク着用依頼に関するアナウンス、乗車時のマスク着用チェック⇒ない人へのマスク配布、車内の換気設備整備
状況5	○	×	×	×	15	満員電車内で一部の乗客において発話がある/医療機関（治療中）	車内および院内の換気設備整備
状況6	×	×	○	○	10	換気がされている飲食店、学校（給食時）	学校：対面での座席配置を極力避ける
状況7	×	○	×	○	10	満員電車ではないが、マスクを着けていない乗客がいる状態	マスク着用依頼に関するアナウンス、乗車時のマスク着用チェック⇒ない人へのマスク配布
状況8	×	○	○	×	10	換気された満員電車、マスクを着けていない乗客がいる状態	マスク着用依頼に関するアナウンス、乗車時のマスク着用チェック⇒ない人へのマスク配布
状況9	○	×	×	○	10	換気の悪い店（飲食伴わない）/学校（授業中）/職場	換気設備の整備
状況10	○	×	○	×	10	換気された満員電車、一部の乗客で発話がある/学校（登下校時、休憩時）/換気された劇場等/スポーツ観戦（満席状態）	学校：分散登下校、マスク着用チェック 劇場等：密着を避けた観客配置 スポーツ観戦：選手のPCR検査義務化
状況11	○	○	×	×	10	換気の悪い満員電車	換気設備の整備
状況12	○	○	○	×	5	換気された満員電車、演劇/音楽/映画鑑賞（満席状態）	演劇/音楽鑑賞：出演者のPCR検査義務化
状況13	○	○	×	○	5	換気の悪い場所での演劇/音楽/映画鑑賞（ゆったりと）	演劇/音楽鑑賞：出演者のPCR検査義務化、換気設備整備
状況14	○	×	○	○	5	換気された店（飲食伴わず）/換気された学校（授業時）/職場/スポーツ観戦（ゆったりと）	座席配置の配慮（対面を極力回避） スポーツ観戦：選手のPCR検査義務化
状況15	×	○	○	○	5	マスクをせずに単独で散歩	
状況16	○	○	○	○	0	換気された場所での演劇/音楽/映画鑑賞（ゆったりと）	

【脆弱性要素説明】

マスク着用	常時マスクを着用している場合は○ 全くマスクを着用しない場合は×
会話なし	会話をほとんどしない場合は○ 会話をしたり歌ったりする場合は×
換気/開放	屋外あるいは屋内でも窓や扉を常時開放している場合/外気を取り入れた換気を行っている場合は○ 密室空間で換気がされていない場合は×
密着せず	相手と触れ合わない距離を保っていれば○ 自分の息が相手の顔に吹きかかる程度の接触がある場合は×

【脆弱性評価要素ポイントについて】

×：5、○：0

【クラスターの発生脆弱性評価】

0～10：クラスターが発生するリスクは低い

11～14：クラスターが発生する恐れがある

15以上：クラスターが発生するリスクはかなり高い

脆弱性評価（クラスター発生）

脆弱性評価パターン	接待を伴う飲食店					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
脆弱性評価パターン1	×	×	×	×	20	クラスター感染が起きるリスクが高い	客、従業員ともマスクを着けずに会話をするため、客から従業員、従業員同士、従業員から客といった具合にクラスター感染が発生し易くなる。
脆弱性評価パターン2	普通の飲食店（対策あり）					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	×	×	○	○	10	クラスター感染はあまり起きない	店内の換気の徹底を常に実施する。したがって、飲食店であっても一定の条件を満たせば、営業を認めてもよいのでは。
脆弱性評価パターン3	普通の飲食店（対策なし）					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	×	×	×	○	15	クラスター感染が起きるリスクが高い	店内は密室状態となっている。
脆弱性評価パターン4	飲食店以外（衣料品店、食料品店など）					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	○	×	△	○	8	クラスター感染はあまり起きない	客、従業員ともマスク着用のため、ほぼ完全に感染を防ぐことができる。密室にならないように換気に気を配るとベターである。
脆弱性評価パターン5	医療機関/福祉施設					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	△	×	△	×	16	クラスター感染が起きるリスクが高い	感染者が医療や検査を受ける際にマスクを外す場合がある。その際に、医療従事者に感染するリスクがある。医療従事者が感染すると、医療従事者間または患者への感染リスクが高まる。
脆弱性評価パターン6	カラオケ					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	×	×	×	○	15	クラスター感染が起きるリスクが高い	歌う時はマスクを外すため、客から客への感染が発生する。窓のない換気の悪い場所が多いため、クラスターが発生し易い。
脆弱性評価パターン7	自宅					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	×	×	△	△	16	感染が発生するリスクが高い	自宅ではあまりマスクは着用しない。また、家族間の距離は近く、会話も多くなっている。
脆弱性評価パターン8	職場（対策あり）					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	○	×	○	○	5	クラスター感染はあまり起きない	窓や扉の開放、空調設備の整備等により密室状態を回避できれば、クラスターの発生はあまり起きない。
脆弱性評価パターン9	職場（対策なし）					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	△	×	△	○	11	クラスター感染が起きる可能性がある	換気が徹底されなければ、クラスターの発生の危険がある。
脆弱性評価パターン10	学校（大学除く）通常授業時					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	○	×	△	○	8	クラスター感染はあまり起きない	授業中であれば、児童や生徒同士の密着はあまり起きないため、クラスターの発生の危険性は低くなる。
脆弱性評価パターン11	学校（大学除く）給食時					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	×	×	△	○	13	クラスター感染は起きる可能性がある	給食時はマスクを外すため、会話を控えれば感染リスクは低くなるが、会話をしてしまうと、感染リスクは高くなる。このため、換気の重要性が増す。
脆弱性評価パターン12	学校（大学除く）登校/下校時					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	○	×	○	×	10	クラスター感染はあまり起きない	登校/下校時においては、マスクの着用を徹底するか、児童/生徒同士のじゃれ合いなどを禁止とするかのどちらかを選択する必要がある。
脆弱性評価パターン13	学校（大学除く）休み時間/掃除					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	○	×	△	×	13	クラスター感染は起きる可能性がある	どうしても児童/生徒は密な接触をしがちなため、感染が起きやすい。回避策としては、相手の顔に自分の息がかかるような行為を禁止する。または、換気を徹底するかである。
脆弱性評価パターン14	大学					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	○	×	△	○	8	クラスター感染はあまり起きない	教室内の換気を徹底すれば、クラスター感染の発生を防ぐことができる。
脆弱性評価パターン15	満員電車					クラスター発生分析	コメント
	マスク着用	会話なし	換気/開放	密着せず	合計		
	○	○	×	×	10	クラスター感染はあまり起きない	電車内ではあまり会話がなないので、意外にクラスター発生リスクは低い。

【脆弱性要素説明】

マスク着用	常時マスクを着用している場合は○
	一時的でもマスクを外すことがある場合は△
	全くマスクを着用しない場合は×
会話なし	会話をほとんどしない場合は○
	会話をしたり歌ったりする場合は×
換気/開放	屋外あるいは屋内でも窓や扉を常時開放している場合/外気を取り入れた換気を行っている場合は○
	屋内において扉や窓を一時的に開けている場合/換気が不十分な場合は△
	密室空間で換気がされていない場合は×
密着せず	相手と触れ合わない距離を保っていれば○
	相手と触れ合うことがある場合は△
	自分の息が相手の顔に吹きかかる程度の接触がある場合は×

【脆弱性評価要素ポイントについて】

×：5、△：3、○：0

【クラスターの発生脆弱性評価】

0～10：クラスターが発生するリスクは低い
 11～14：クラスターが発生する恐れがある
 15以上：クラスターが発生するリスクはかなり高い